

トップメッセージ

株式会社河合楽器製作所
代表取締役会長兼社長

河合弘隆



長期ビジョン「100年ブランドの確立」のもと
100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、
企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長に取り組みます。

長期ビジョン「100年ブランドの確立」と新中期経営計画「Resonate 2021」の推進

当社グループは、創業者河合小市の「世界一のピアノをつくりたい」という創業の志を受け継ぎ、持続的な成長を図るための長期ビジョン「100年ブランドの確立」を策定しました。100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させてお客様満足度の向上を追求するとともに、音楽文化への貢献を通して企業価値・ブランド力の向上に取り組んでおります。

2016年度から2018年度の3年間は、中期経営計画「Resonate 2018」で掲げた主要戦略に沿った施策を実施してまいりました。

楽器教育事業では、国内の中核都市の店舗を、コンサートサロンを併設した店にリニューアルし、カワイブランドを体感してもらえる店舗戦略を進めました。海外戦略では、米国・欧州での直営店展開により販売基盤を強化し、中国・東南アジアでの音楽教育事業や調律事業などの展開により中長期的な成長を見据えた基盤体制を構築・強化してまいりました。その結果、とくに中国でのピアノの販売は、大きく伸長しました。

商品施策では、高付加価値戦略のもと、最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』の販売拡大や、ピアノ技術とオーディオ技術の融合により新しいピアノの可能性を提示したハイブリッドデジタルピアノ『NOVUS NV10』やハイブリッドアップライトピアノ『AURES』などの競争力のある魅力的な商品展開を推進しました。

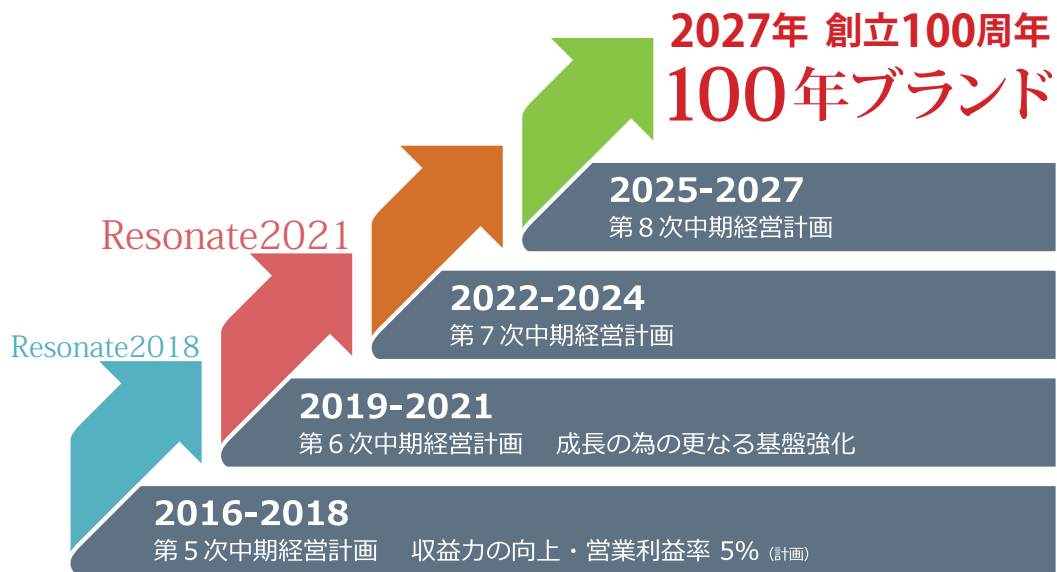
※ Resonate (レゾナイト) は「鳴り響く・響き渡る」「共鳴する」という意味

素材加工事業では、異形圧延技術による金属加工品の CVT 自動車向けや半導体向けの受注拡大に取り組んでまいりました。

また、昨年11月に開催された「第10回浜松国際ピアノコンクール」では、前回に引き続き、フルコンサートピアノ『SK-EX』を選定した奏者が優勝を果たしました。これは、創業以来培ってきたピアノづくりをベースに1980年に竜洋工場を造り、その後40年近く積み重ねてきた新しいピアノづくりの成果であると思います。

本年3月には、2019年度から2021年度を計画期間とする新中期経営計画「Resonate 2021」を策定しました。本中期経営計画を長期ビジョン「100年ブランドの確立」の実現に向けた「成長の為のさらなる基盤強化」のステージと位置付け、重点戦略として、「販売力」、「製品・サービス力」、「生産力」、「組織力」をそれぞれ深化させることに取り組めます。また、事業戦略として、教育・調律事業における海外展開の拡大及び素材加工事業における生産体制の強化により中長期的に重要な事業基盤の強化を図ってまいります。

さらに、企業に対する重要な社会的要請である ESG (環境・社会・ガバナンス) への取り組みを中期経営計画の重要課題と位置付けました。事業活動を通じて持続可能な社会の形成に貢献することが、社会的価値の創造と企業価値のさらなる向上に結びつくものと考え、ESG への取り組みを強化してまいります。



長期ビジョン「100年ブランドの確立」と新中期経営計画「Resonate2021」の位置づけ

人財の育成と音楽文化への貢献

時代に即した組織づくりをするためには、ダイバーシティやワークライフバランスなど、さまざまな課題に取り組まなければなりません。

また、世の中の急激な変化に対応し、長期ビジョン「100年ブランドの確立」を実現するためには、これからのカワイを担う「人財」の育成が重要です。一人ひとりが持つ力を十分に発揮できるよう、教育研修プログラムの拡充による能力開発を図ると同時に、女性活躍推進を起点とした働き方改革の実現に向けて取り組んでまいります。

2017年には、当社の創立90周年を記念して「Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール」を創設いたしました。本コンクールの特色の一つは、演奏技術のみでなく真にすぐれた音楽家を見出すことに注力した課題曲が選ばれていることであり、世界で活躍する若手ピアニストも参加するハイレベルなコンクールとなっています。本年、7月から8月にかけて東京で開催する第3回目のコンクールでは、18の国と地域より234名のエントリーがあり、予備審査を通過した58名が1次予選に臨みます。

当社グループは、本コンクールや各地で開催するカワイコンサートなどを通じて、次世代を担う、若い才能あるピアニストを見いだし、育成・支援するとともに、国際交流の推進や国内外の音楽文化の振興にも貢献してまいります。

環境への取り組み

ピアノには、世界各地から産出される様々な木材や、羊毛から作られるフェルトなどが使用されています。

多くの自然資源の恩恵を受けて事業活動を行っている当社グループにとって、豊かな自然環境が保たれることは、持続的発展に不可欠であります。このような考えから「地球環境憲章」と「環境方針」を定め、その理念を推進する体制として全社で組織する「カワイ地球環境委員会」を設置しております。

また、国内・インドネシア・中国の主な生産拠点ではISO14001環境マネジメントシステムを導入して、地球環境に配慮した事業活動とグローバルな地球環境の保全への取り組みを進めています。

今後も、「木材調達ガイドライン」などの方針に基づいた責任ある調達、資源効率向上による省エネルギーと廃棄物の削減、リサイクルによる資源循環の取り組み、CO₂吸収などを目的としたインドネシアの「カワイの森」植林活動といった環境負荷低減につながる取り組みを積極的に推進いたします。

当社グループは、これらの取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献していくことにより、全てのステークホルダーの皆様から信頼される世界一のピアノづくりの企業を目指してまいります。

今後とも、皆様の一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。